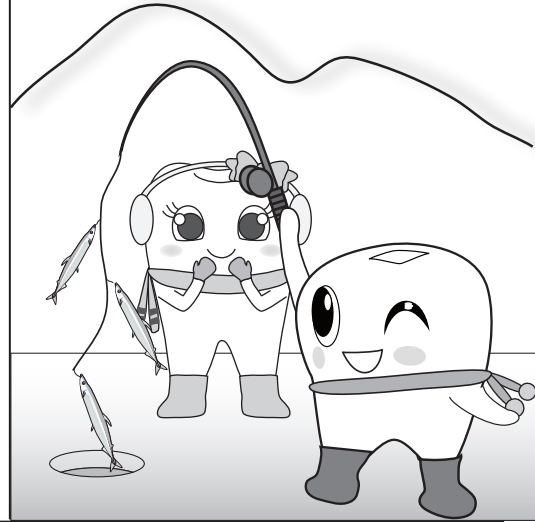


皆さんこんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

歯を1本失った後、そのまま放置してしまうと、残った歯の歯並びが乱れて全体の噛み合わせが悪くなります。噛み合わせの不具合は、噛む力が大きく低下して低栄養の原因となるだけでなく、平衡感覚や力の発生にも悪影響を及ぼし、高齢者では転倒リスクが2倍以上高くなるということが知られています。転倒による骨折は、寝たきりとなる原因の第2位であることから、歯が抜けてしまった部分は入れ歯等で補う治療が必要であることがわかります。歯を失った部分を治すことを補い綴る(つづる=つなぎ合わせる)という意味から、歯科の専門用語では「補綴(ほてつ)」と呼びます。そこで今回は「抜けてしまった歯の補綴治療」についてご紹介します。



1. 代表的な補綴の種類

補綴治療には、入れ歯、ブリッジ、インプラントの3種類があります。それぞれに長所や短所がありますので、どんな治療方法かをご説明します。

2. 入れ歯 (部分入れ歯・総入れ歯)

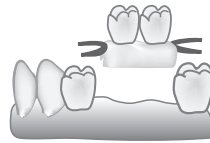
失った歯が1本だけでも、多くの歯を失った場合でも対応できて、他の健康な歯を削る必要がほとんどありません。バネで支えたり、ワイヤーを健康な歯に引っ掛けて固定します。寝る時は取り外し、入れ歯ブラシで汚れを落とした後、洗浄液に浸けて殺菌洗浄します。要介護者の場合、1本だけの小さな入れ歯は飲み込まないよう注意が必要です。作製直後は、違和感や歯ぐきに痛みが出ますので数回の調整が必要になります。治療は保険適用となります。

3. ブリッジ

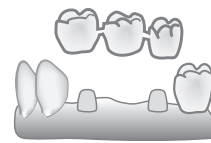
抜けた歯に隣接する健康な歯2本を支柱にして、欠損部分をタミーの歯で橋渡しにする治療です。支柱となる歯にしっかり固定するので着脱の必要がなく、違和感も少ない治療方法です。部分入れ歯に比べれば安定していて噛む力も回復しますが、支柱となる両側の

歯を削る必要があります。またブリッジを入れたら、歯磨きの時は、歯間ブラシ等を用いた清掃が必要になります。保険適用と適用外のものがあります。

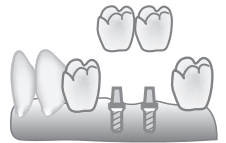
【入れ歯】



【ブリッジ】



【インプラント】



4. インプラント

インプラントは顎の骨にチタン製のネジのような人工の歯根を埋め込む治療方法です。顎の骨と完全に固定することになるので着脱は不要です。また残っている歯を削る必要もなく、自分の歯に近い咀嚼能力を回復できます。しかし保険適用外の自費診療であること、手術が必要になり治療期間も長くなることから要介護の方には基本的に対象外の治療方法です。

5. 定期的なメンテナンス

どの方法を選択するかは、歯科医師とよく相談して決めましょう。また補綴物は、定期的な歯科医師のチェックと歯科衛生士によるクリーニングが必要です。半年に1度は歯科を受診してください。

◆ 奥歯の噛み合わせがない場合、転倒→骨折→寝たきりのリスクが高くなります ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって 

ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」と話をしていただいていたのに…。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30
(土曜日は16:30まで)

診療科目 歯科 小児歯科

休診日 木曜・日曜・祝祭日

院長 津谷 良

岡山市中区海吉1807-14

☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413